

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は2023年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習会場等について

大会前日、当日の本競技場及び補助競技場、雨天走路での練習は、別記(練習会場使用日及び注意事項)に従い安全に十分配慮して行うこと。

3 招集について

(1) 招集所は、本競技場第4ゲート(100mのスタート付近)の外側に設ける。

(2) 種目別招集開始・完了時刻は、競技日程に記載した通りとする。

(3) 招集の方法

① 競技者は招集開始時刻前に、招集所で待機し、役員から点呼を受ける。その際、ユニフォームのアスリートビブスと競技用スパイク及びシャツ・バック等の商標について点検を受ける。代理人による点呼は認めない。

② 混成競技は、その日の最初の種目において招集所で役員から点呼を受ける。それ以外の種目は混成控室で混成審判長の点呼を受ける。

③ 2種目同時に出場する競技者は、1種目目の招集完了時刻までに競技者係にその旨を申し出て役員の指示に従うこと。

④ 欠場する場合は、各種目招集開始時刻までに『欠場届』に必要事項を記入し、招集所に提出すること。

⑤ リレーに出場するチームは「リレーオーダー用紙」(招集所にある)を記入し、招集所に提出する。締切時刻は各ラウンドの第1組の招集完了時刻の1時間前とする。

⑥ 招集完了時刻に遅れた競技者は当該種目を欠場とする。

混成競技の場合、欠場した次の種目からの出場はできない。

4 アスリートビブス(ビブス)について

(1) アスリートビブスは主催者が配布したものを使用し、配布された大きさのままユニフォームに付けること。

跳躍競技に出場する競技者のアスリートビブスは背部または胸部の1カ所でもよい。

(2) トラック競技に出場する競技者は、腰レーンナンバー標識を招集所で受け取り、右腰部に付けること。

(3) 長距離種目(1500m以上)は、競技者係から配布されたレーンナンバーを胸・背・腰に付ける。

5 競技場内への入退場について

(1) 招集所から競技場所への移動は、係員の誘導に従うこと。

(2) 競技終了後は競技役員の指示に従い退場すること。正面スタンド前の通行は禁止する。

6 競技の抽選並びに番組編成について (走路順・試技順)

(1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選で決定し、プログラム記載の競技者番号の左に数字で示す。

(2) トラック競技で予選を行う種目は次のラウンドの組合せ・走路順については記録掲示板に掲示する。

7 競技および競技方法について

(競技会として)

(1) 本大会は、ワールドランキングコンペティションの対象大会である。

(2) TR6.3.2「競技者に対する助力」として競技区域内に持ち込みが禁止されている、ビデオ装置・レコーダー・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を招集の際に持ち込まないこと。もし、持ち込んでしまった場合は、必ず招集所の審判に預けること。

(トラック競技)

(1) その競技を行う競技者以外は競技場内に立ち入ることはできない。

(2) レーン競技では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走ること。

(3) 長距離種目は、参加人数によりグループスタートを採用する。

(4) リレー競走においてマーカーを使用する場合、各チームで用意すること。

また、片付けについてはそのチームが必ず行うこと。

(5) トラック種目で、予選の参加人数により予選を中止し決勝のみを実施することがある。その場合は、決勝時間に競技を実施する。

(6) 競技運営上、以下の種目では、最後の1周までに下記の制限時間を超えた場合、次の周回に入れない。

◇10000m 男子35分

◇5000mW 男子30分 女子33分

(フィールド競技)

(1) 跳躍、投てき(やり投)競技者は、助走路の外側に主催者が用意した、または承認したマーカーを2つまで使用することができる。サークルを使用する投てき競技者は、主催者が用意したマーカー1つをサークルの直後あるいはサークルに接して置くことができる。

(2) 棒高跳の競技者は自分が希望する支柱の位置をあらかじめ所定の「棒高跳支柱移動届」(招集所にある)に記入し、現地競技役員に申し出る。申し出た後で位置を変えたい場合、担当競技役員に申し出る。

(3) フィールド競技における練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。

(4) 三段跳の踏切板の位置については、男子は12m、女子は10mとする。ただし、状況によっては審判長の判断により変更する場合がある。

- (5) 走幅跳と三段跳は、競技運営上2ピットで実施する場合がある。
 (6) 走高跳、棒高跳決勝のバーの上げ方は、次の通りとする。

走高跳	男子	1m75(練習)	1m80 - 1m85 - 1m90 - 1m95 - 2m00 - 以降3cm刻み
	女子	1m45(練習)	1m50 - 1m55 - 1m60 - 以降3cm刻み
棒高跳	男子	3m60(練習)	3m80 - 3m90 - 4m00 - 以降10cm刻み
	女子	2m20(練習)	2m40 - 以降10cm刻み
混成走高跳	男子	1m40(練習)	1m45 - 以降5cm刻み
	女子	1m15(練習)	1m20 - 以降5cm刻み
混成棒高跳	男子	任意の高さ(練習)	2m50 - 2m70 - 2m90 - 3m00 - 以降10cm刻み

* ただし、状況によっては審判長の判断によりバーの上げ方を変更する場合がある。

* 第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

(混成競技)

(1) 混成競技に参加する選手の待機場所は、本競技場の雨天走路内に設置してある。

8 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は、全て主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし棒高跳用ポールは、個人所有のものを使用できる。
 (2) 投てき用具については、公表された競技場備え付け用具リストにないものは持ち込みを認める。希望者は、当該種目の招集開始2時間前から1時間前までにフィニッシュ側用器具庫内で検査を受ける。ただし、検査に合格した用具は一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとする。競技終了後に担当総務員が、フィニッシュ側用器具庫内で返却するので取りに来ること。

9 競技用靴について (TR5.2に準拠)

競技場は全天候舗装である。スパイクのピンの数は11本以内で、長さは9mm以内とする。ただし、やり投げ・走高跳の場合は12mm以内とする。また、スパイクの先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。

靴底の最大の厚さはTR5.2で示された通りとする。

10 表彰について

種目別表彰は、その都度行う。3位までの入賞者は当該競技終了後、直ちに表彰控所(玄関ホール)に集合すること。

11 更衣室について

男女更衣室は本競技場雨天走路内に設置されている。更衣室にシートを敷いての場所とりや独占は禁止とする。

12 一般連絡・注意事項

- (1) 競技中に発生した傷害については、応急処置のみ主催者側で行い、その後の責任は負わない。医務室は本競技場玄関ホールの横に設置する。(新型コロナ対策、熱中症対策をしっかりと行うこと)
 (2) 衣類の広告に関する規定については、「競技会における広告および展示物に関する規定」に従い、違反に対しては、主催者において処置する。表彰を受ける際もこれが適用される。
 (3) 競技場内での助力は禁止する。スタンドからの助言はコーチングエリア内に限る。競技運営ならびに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認めるものとする。文章をもって連絡することや、当該競技場を勝手に離れることはできない。(TR6.4)
 (4) 応援旗・部旗・横断幕・のぼり旗等は、メインスタンド最上段および芝スタンド上段のみ設置してもよい。ただし、ホームストレート延長上には設置できない。
 (5) テントは、メイン競技場芝スタンド(100mスタート後方およびフィニッシュ前方は除く)、補助競技場のトラック周りやメイン競技場芝スタンド裏側など、通行に支障がない箇所に設置を認める。県営体育館との間の円芝生への設置は認めない。また、雨天走路内での待機休憩場所としての場所とりは禁止する。
 (6) メインスタンドダックアウトについて使用は認める。場所とりは先着順とするが、運動公園の開門時間(午前6時)以前から公園内に入り、並んでいた個人・団体は使用を禁止する。なお、競技場の開門時間は午前6時30分とする。
 (7) 正面スタンドでの集団応援は禁止とする。サイド及びバックスタンドからは許可するが、フィールド競技中に近くでの応援は禁止する。
 (8) スパイクシューズを履いたまま競技場施設(スタンド等)には入らないこと。
 (9) 遺失物については、本部で保管する。